

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立朝霞西高等学校	Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、今年度見直しが図られている。学校像に示されたフレーズについて、何が「伸びる」のか、何を「伸ばす」のかを明確にして、目指す学校像を更に具体的かつ魅力あるものにしていただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されているので、一人一人の教員が生徒の自己肯定感を育てるという視点に立ち、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	校長主導の下で、今年度、企画委員会と四つの分掌が連携してシステムシートを作成する体制が整備され、学校自己評価システムに基づく取組が動き始めた。今後は他の分掌・学年等が連携する仕組みを構築し、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定するように取り組み、教職員全体の参画を促していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	身だしなみ指導等を3か年計画で着実に進めるなど、様々な方策が実施され、進路実績の向上といった具体的な成果も上がってきている。評価指標が方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせで分かりやすい評価指標を設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	学校経営に関する校長の意向が教職員に示されており、「将来構想検討チーム」を立ち上げるなど、課題解決のための様々な取組が実施されている。校長の的確なリーダーシップの下、管理職間の有機的な役割分担に基づいて、教職員一人一人が力を発揮して、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策を検討している。必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、アンケートの結果等を分析して、更にPDCAのスパイラルアップを進めていただきたい。
特記事項		